

C L T活用促進に関する関係省庁連絡会議（第13回）
議事要旨

日 時：令和4年9月20日（火）14:00～14:15

場 所：官邸4階大会議室

出席者：磯崎 仁彦	内閣官房副長官
森 昌文	内閣総理大臣補佐官
深井 敦夫	内閣官房内閣審議官
重松 弘教	警察庁長官官房会計課長
的井 宏樹	総務省大臣官房審議官（財政制度・財務担当）
松本 麗	法務省大臣官房施設課長
野沢 和也	文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部技術参事官
茂里 毅	文部科学省高等教育局私学部長
藤原 朋子	厚生労働省子ども家庭局長
斎須 朋之	厚生労働省大臣官房審議官（老健、障害保健福祉担当）
鷺見 学	厚生労働省医政局地域医療計画課長
織田 央	林野庁長官
茂木 正	経済産業省商務・サービス 審議官
井上 博雄	資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー一部長
秋月 聡二郎	国土交通省大臣官房官庁営繕部長
塩見 英之	国土交通省住宅局長
角倉 一郎	環境省大臣官房政策立案総括審議官
パネラー：長崎 敏志	内閣官房国際博覧会推進本部事務局次長

1. 説明内容

C L Tの活用状況等及び最近のC L T建築物等の動向について、深井内閣審議官より資料1及び資料2に沿って説明があった。

次に、新ロードマップの取組状況について、深井内閣審議官より資料3-1に沿って説明があった。

C L Tの普及に向けた新ロードマップの充実について、深井内閣審議官より資料4-1、4-2に沿って概要を説明し、織田林野庁長官、塩見国土交通省住宅局長より資料4-3に沿って説明があったのち、異議なしとなり、案のとおり決定となった。

「C L T活用促進に関する関係省庁連絡会議幹事会の開催について」の一部改正について、深井内閣審議官より資料5に沿って説明があり、異議なしとなり、案のとおり決定となった。

2. 出席者からの主な意見

副議長である森内閣総理大臣補佐官より以下の発言があった。

- ・本日は、昨年新ロードマップを策定してから2回目の連絡会議となったが、本日も報告頂いた事項も含め、新ロードマップに沿ってしっかりと取り組んでほしい。
- ・脱炭素社会の実現に向け、GXにも資するC L Tの重要性は増しており、公共建築物での活用を生き残り積極的に進めていくとともに、民間建築物で普及させていくことが大切だ。
- ・本日は、新ロードマップに、
 - ・中層建築物について、具体的な用途を想定した標準的な設計を示す木造化モデルの

作成

- ・大規模建築物でのCLTの活用拡大につながる防耐火規制の合理化等の新たな施策が追加され、より充実したものになることを報告いただいた。
- ・引き続き、充実した新ロードマップに基づき、積極的に施策の発展を進めてCLTを活用しやすい環境の整備を進めて頂きたい。

議長である磯崎副長官より以下の発言があった。

- ・本日の会議では、CLTを活用した建築物が今年度中に 950 件強に達する見込みであるとの報告があり、CLTの普及が着実に進んでいることを確認した。
- ・この中でも、銀座の高層商業施設、横浜の純木造による高層研修施設など、様々な用途で課題である中高層建築物への活用が進むと共に、国民へのPR効果の大きいプロジェクトが増えてきている。
- ・今後のプロジェクトとしては、大阪・関西万博日本館においてCLTの活用を進めるための取組が関係省庁の連携のもと進められている。
- ・関係省庁においては、引き続き、こうしたモデル的プロジェクトの推進に積極的に取り組んで頂きたいと思う。
- ・また、令和3年3月にとりまとめられた新ロードマップについては、さらにCLTの普及拡大を図るため、これまでの施策に加え、標準的な木造化モデルの作成・普及や、防耐火規制の合理化の取組が盛り込まれたところ。
- ・令和5年度概算要求においても、新ロードマップに位置づけられた取組が盛り込まれている。
- ・CLTの活用促進は、新たな木材需要を生み出し、適切な森林管理を通じた国土強靱化や、地方創生にも寄与するほか、脱炭素社会の実現にむけたGX（グリーントランスフォーメーション）の推進につながる。
- ・各省庁におかれては、引き続き、新たなロードマップのもと、関連施策の積極的推進に御尽力いただきたい。

以上